

公金横領事件
未だ告訴できないまま

「信頼回復」につながるのでしょうか？

全容・真相も解明されないまま

6議員の賛成で

「町長給与6割カット」とりやめ

5日、北川町長の給与6割減額1年間を10月から打ち切る議案が建部孝夫議員から提出され、賛成6、反対5で可決（木村議長は採決に参加せず）。今年3月定例会では、4月から来年3月までの1年間、条例給与を6割減額する議案が賛成7（西川、野瀬、山田裕康、山田充、西澤、田中、岡田の各議員）、反対4（建部、阪東、丸山、宮崎の各議員）で成立したものの、多くの方から、「着服事件の告訴もできない現状で、とても納得できない」などの怒りと疑問の声が寄せられています。

建部議員の提案理由

今年3月議会で非常に厳しく議会によって重い処分が決定されて、管理監督を問うものとしては町長の減給60%1年間は厳しすぎる。（建部議員は、職員の死亡事故、官製談などの責任をとった首長の例を挙げ）責任を取らない首長もいる。異常くらいの厳しさ、（減給）60%はそのままでも、12か月を6か月に短縮すべき。

—要旨—

2議員が

態度を変える

町長給与6割カットを打ち切ることで、10月から条例規定による月額66万円が支給されることとなります。

建部議員は提案理由で、減給一年間は「異常

くらい」の厳しさだとして（提案要旨は別掲参照）、元に戻すべきだ、として賛同を呼びかけました。賛成は建部、阪東、丸山、宮崎、田中、岡田の各議員。反対したのは西川、野瀬、山田裕康、山田充、西澤の各議員でした。

首長の減給は

政治姿勢を示す

建部議員の提案に対し、西澤議員は次のように質問しました。——
1、今年1月発覚した町職員による公金横領事

件は、いまだ告訴もされず、

説明も進んでいないと見られます。その管理、監督の責任は大変重いもの。ところが、北川町長は、全容解明の後、自らの責任を決めたいとしているだけで、自らへの戒めを明らかにしていません。

2、提出者は、現行の6割カット、1年間との議案が提出された際、議員が町長の給与額を定めることはいかなるものかとの見解を表明されました。本議案、発議は明

らかに議員が現行の減給を元に戻すというものであり、提出者の見解と矛盾することではありませんか。

3、軽い方ばかり首長の減給を紹介したが、首長の減給は政治姿勢を表す一つで、公金横領事件で失墜した甲良町行政の信頼回復の決意を示したものの。——

この質問に対し、建部議員は、異常に厳しすぎる処分は元に戻すべきだ、などと繰り返すだけで、町長の管理監督を問う発言は

21日・9月議会最終日

9:00開会

甲良町議会9月定例会は21日（水）最終日を迎えます。27年度一般会計を含む9会計の承認議案、28年度会計の補正予算などが採決に付されます。

27年度一般会計決算認定の委員会審査では、公金横領事件で明るみになった現金管理などのズサンな行政事務、町長・幹部職員の管理監督責任がはたされていない事項などが指摘され、改善を提起する発言が相次ぎました。委員会採決では3人が反対（西川委員長は採決に加われない）。本会議での採決が注目されます。

どなたも傍聴できます

甲良民報

2016年9月18日 678号
発行責任：日本共産党甲良町議員
連絡：甲良町在土463（西澤）
Tel：38-4949 Fax：38-2242

ご意見・ご要望をどうぞ。

くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123 松元たけし 38-3875

日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもご覧ください【「西澤伸明」で検索】

自衛隊員の命を まもれ!



南スーダンの戦場に隊員を送るな

「戦争法」強行1周年!

「駆けつけ警護」で武器使用を

稲田防衛大臣は8月24日、安保法制(戦争法)を実行するための訓練を、自衛隊が開始すると宣言。11月からアフリカ・南スーダンPKO(国連平和維持活動)に派遣される陸上自衛隊東北方面隊第9師団(青森市)などに、他国のPKO要員や援助関係者を武力で守る「駆けつけ警護」などの訓練を開始することを命じました。

「殺し殺される」戦闘参加へ

南スーダンは内戦状態です。停戦合意を前提とするPKO協法力に従えば、自衛隊は本来撤退すべきです。しかも、国連安保理事会は、「先制攻撃」も許される4000人規模の部隊の増派を決めました。国連部隊が先制攻撃し、その応援に自衛隊が駆けつけ、「殺し殺される戦闘」をくりひろげる——そんな事態が起こりかねないのです。

憲法9条守れ! 戦争法は廃止を!

この南スーダンでの戦闘参加は、海外の戦争に自衛隊が参加する、戦争法発動の第一歩です。この先には、米軍が主導する多国連軍の治安維持活動や、「対テロ戦争」への参加、他国の戦争に参加する集団的自衛権行使などが待っています。二度と戦争しないと誓った憲法9条をふみにじり、「海外で戦争する国」へ突き進む道です。

自衛隊を海外の戦場に送るな! 戦争法は廃止を! の声をあげましょう。

なぜ、息子が孫が…!? 自衛隊家族の切実な声

○「孫が「南スーダン派遣を打診された」と言ったとき、しばらく船と一緒に泣きました。なんで銃を持って、外国に行かなきゃならぬんですか!」
(青森の隊員の祖父)

○「自衛隊家族には不安が広がっているが、自分たちはこぶしを振り上げることができない。(反対する)あんなにたちがれりだ」
(岩手・盛岡の隊員の父)



私たちは、一人一人の意志で平和のために行動する市民団体です

日本平和委員会 2016年9月発行
http://j-peace.org/ 東京都港区芝1-4-9平和会館4F
TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277

日本共産党甲良町支部

議会報告・懇談会のごあんない

9月24日(土)夜7時開会
丸山光雄さん宅

「横領事件どうなってるんや?」「何とかせんとあかんやろ」などの声に応えて、公金横領事件や相次ぐ不祥事などの最新の現状をご報告し、参加者のみなさんと今後の取り組みを共に考え、日本共産党創立94周年記念DVDも視聴していただく「つどい」にしたいと計画しました。どうぞお気軽にお越しくださいあればありがたいです。

祝「犬上生健会」発足

来る10月1日に「せいけんかい」が、この犬上郡にも誕生すると聞き、期待しているひとりです。発足の準備にあたっている方によると「犬上生活と健康を守る会」との名称だと言います。入会の呼びかけチラシでは「だれもが人間らしく暮らせるよう…生きる権利を守るために力を合わせ、知恵を出し合う——60年以上の歴史を持つ全国的な運動団体です」としています。

今日、貧困と格差の広がりや深刻なもの。安倍内閣による庶民泣かせの政治に立ち向かうとともに今ある制度を活用し、励まし合い、力を合わせる事がとても大事だと思います。(西澤伸明)

西澤議員の話

もともと、3月議会では、議員の公金横領事件の発覚を受け、北川町長自ら1割減給5か月の議案を提出したのに対し、それは、甘いとして6議員が連名で提出した経緯があります。3月議会で決議された「減給」は公金横領事件で失墜した甲良町行政の信頼回復の決意を求めたものであり、職員に対する「処分」とは質が異なります。東京

都の小池知事は「5割減4年間」で信頼回復の決意を示そうとしています。「6割減給1年間」は町民の間で、「町長が先頭になって身を切るのが当然」などと評価されています。北川町長自身も「謙虚に受け止める」とマスコミの取材に答えていたものです。議会の信頼も失う町民からは、一度本会議で決めたことを理由も表明せずくつがえすのでは、議会と議員の信頼も地に落ちた、などの声が寄せられ、

町政の信頼回復が遠のくのはとても残念です。告訴の期限を示さず今議会の一般質問で5議員が公金横領事件を取り上げ追及、早期に告訴すべきと迫った議員に当局は、9月末までは無理、あと2ヶ月、いや4ヶ月…とはぐらかし、あぐくには努力目標の期限すら示ませんでした。日本共産党は、他の議員はじめ、みなさんと力を合わせて、刑事責任を問い、事件の全容解明が進むようがんばります。



しんぶん
赤旗

政治・経済・事件のなぜ?がよくわかる新聞!!

「臨時国会でのTPP協定批准反対」と「子ども医療費補助に対する減額措置の廃止を求める」2つの意見書が提案予定

21日の議会最終日には当局提出の議案とともに、議員から上記の意見書が提出・採決される予定です。「TPP協定」は西川議員、「福祉医療費削減廃止」は岡田議員がそれぞれ賛成議員を得て提出することになりました。